

平成17年度

掛之上遺跡38・39・40・42

—写真図版編—

2006

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所都市建設部区画整理課

平成17年度

掛之上遺跡38・39・40・42

－ 写真図版編 －

2006

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所都市建設部区画整理課

例 言

1. 本書は、平成17年度に袋井市教育委員会と袋井市役所都市建設部区画整理課が実施した、^{おのづか}掘之上遺跡の第38・39・40・42次発掘調査報告書写真図版編（まちづくり交付金区画道路事業分報告書）である。なお、第39次調査区（まちづくり交付金民間建築促進事業分）は第40次調査区と一体化しているため本書に含めて報告した。
2. 本発掘調査は袋井市教育委員会松井一明を発掘調査の担当者として実施した。
3. 本調査に係る事務については、袋井市役所都市建設部区画整理課公共施行係が行った。特に、公共施行係の鈴木茂、小池恵子、溝口文康、藤原資郎、藤田佳三、松井健尋の各氏には、現場と事務に関して円滑な調整をして頂いた。ここに記して感謝いたします。
4. 本書の編集は松井が行った。
5. 本書に使用した現場写真のうち、空中全景写真については株式会社フジヤマが撮影したものを、その他遺構個別写真については松井が撮影したものを使用した。
6. 本調査で得た資料については、すべて袋井市教育委員会が保管している。

写真図版目次

- 巻頭カラー図版1 (1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
(2) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
- 巻頭カラー図版2 (1) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
(2) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
- 巻頭カラー図版3 (1) 第38次発掘調査区空中写真全景 (2) 第38次発掘調査区北端空中写真
- 巻頭カラー図版4 (1) 第42次発掘調査区空中写真全景 (2) 第42次発掘調査区空中写真全景
- 図版1 (1) 第38次発掘調査区空中写真全景 (2) 第38次発掘調査区空中写真全景
- 図版2 (1) 第38次発掘調査区全景 (2) 第38次発掘調査区全景
- 図版3 (1) SH15 (2) SH15
- 図版4 (1) SH15-P3 (2) SZ14東溝 SH14
- 図版5 (1) SZ14東溝 SH14 (2) SH16
- 図版6 (1) SZ14北溝 (2) SK42土器出土状況
- 図版7 (1) 重機による表土掘削作業風景 (2) 人力による作業風景
- 図版8 (1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真透景
(2) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
- 図版9 (1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景 (2) 第39・40次東半発掘調査区全景
- 図版10 (1) 第39・40次東半発掘調査区全景 (2) SZ2 SB10・11
- 図版11 (1) SB10・11 (2) SB10
- 図版12 (1) SB10 (2) SB10かまど
- 図版13 (1) SB11 (2) SB11
- 図版14 (1) SB11貯蔵穴 (2) SH5
- 図版15 (1) SH5-P19土層 (2) SH5-P21土層
- 図版16 (1) SH5-P21 (2) SH5-P22土層
- 図版17 (1) SZ2・3 (2) SZ2
- 図版18 (1) SZ2西溝内土器出土状況 (2) SZ2南溝土層
- 図版19 (1) SZ3 (2) SZ3
- 図版20 (1) SZ3北東陸橋部 (2) SZ3東溝土層
- 図版21 (1) SZ4 (2) SZ4北東コーナー部
- 図版22 (1) SZ4西溝 (2) SZ4北溝土層
- 図版23 (1) SZ4東溝土層 (2) SZ4西溝土層
- 図版24 (1) SK26 (2) SK27・28
- 図版25 (1) SK27土器出土状況 (2) SK27土器出土状況
- 図版26 (1) SD9 (2) SD10
- 図版27 (1) 第39・40次東半発掘調査区西壁土層 (2) 重機による表土掘削作業風景
- 図版28 (1) 人力による作業風景 (2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景
- 図版29 (1) 第40次西半発掘調査区空中写真全景 (2) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
- 図版30 (1) 第40次西半発掘調査区全景 (2) 第40次西半発掘調査区全景

- 図版31 (1) SB10 (2) SZ5・7
 図版32 (1) SZ5・7 (2) SZ5・7
 図版33 (1) SZ7 (2) SZ5
 図版34 (1) SZ5北溝土層 (2) SZ5東溝土層
 図版35 (1) SZ5南溝内土器出土状況 (2) SD18
 図版36 (1) SD18 (2) SK35
 図版37 (1) SK34 (2) SK34土層
 図版38 (1) SP60 (2) SD17
 図版39 (1) SD17 (2) SD17土層
 図版40 (1) 近世溝 (2) 重機による表土掘削作業風景
 図版41 (1) 人力による作業風景 (2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景
 図版42 (1) 第42次発掘調査区空中写真全景 (2) 第42次発掘調査区空中写真全景
 図版43 (1) 第42次発掘調査区全景 (2) 第42次発掘調査区全景
 図版44 (1) SB9 (2) SB9
 図版45 (1) SB9 (2) SB9かまど？
 図版46 (1) SH12 (2) SH12-P3土層
 図版47 (1) SH13 (2) SA？
 図版48 (1) SZ15 (2) SZ15
 図版49 (1) SZ15 (2) SZ15南溝
 図版50 (1) SZ15南溝内埋葬 (2) SZ15南溝内埋葬
 図版51 (1) SZ15北溝土層 (2) SZ15南溝土層
 図版52 (1) SZ15西溝土層 (2) SZ15南溝土器出土状況
 図版53 (1) SK18・19 (2) SK18・19
 図版54 (1) SK18土層 (2) SK19土層
 図版55 (1) SP5内土器棺出土状況 (2) 重機による表土掘削作業風景
 図版56 (1) 人力による作業風景 (2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景

※表紙写真 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景（弥生中・後期の方形周溝墓や古墳後期の竪穴住居、奈良時代の掘立柱建物、近世の区画溝など良好な遺構面が確認できた。上が西となり、真上より撮影した。）

写 真 图 版



(1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
(弥生中〜後期の方形周溝墓が見られたため、墓域であることが判明した。北より)



(2) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
(重複して古墳後期の竪穴住居や奈良時代の掘立柱建物が見られる。東より)



(1) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓が連結して見られた。東より)



(2) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
(東端に奈良時代の区画溝と思われる大溝が見られた。上が南方向。真上より)



(1) 第38次発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓と奈良時代の大型掘立柱建物が見られた。南より)



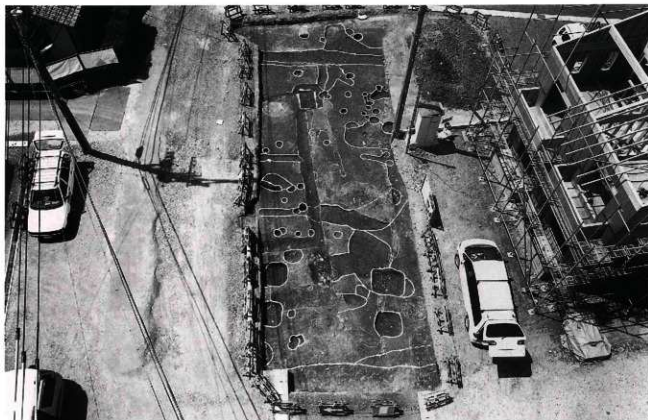
(2) 第38次発掘調査区北端空中写真
(奈良時代の総柱の大型掘立柱建物である。南より)



(1) 第42次発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓と古墳後期の竪穴住居や掘立柱建物が見られた。北より)



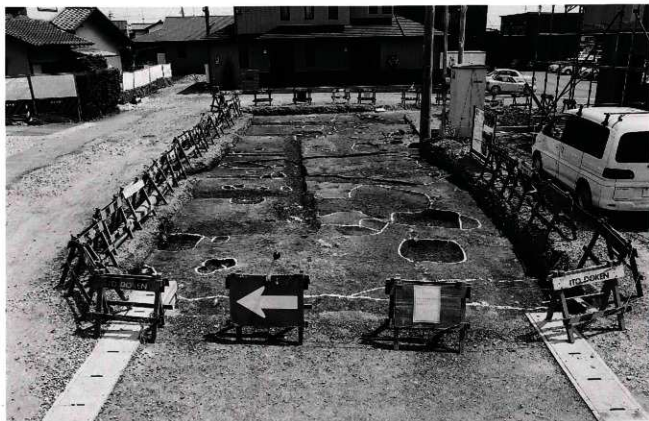
(2) 第42次発掘調査区空中写真全景（上が東方向。真上より）



(1) 第38次発掘調査区空中写真全景
(奈良時代の大型掘立柱建物が見られる。北より)



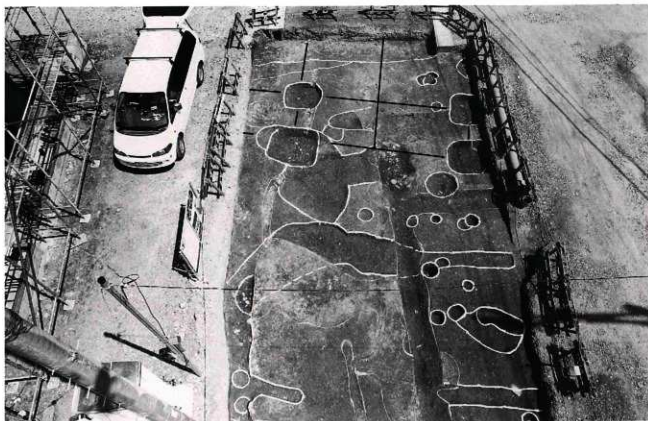
(2) 第38次発掘調査区空中写真全景
(遺構面は削平を受けており、遺構の残存状況は良くない。上が東方向。真上より)



(1) 第38次発掘調査区全景（北より）

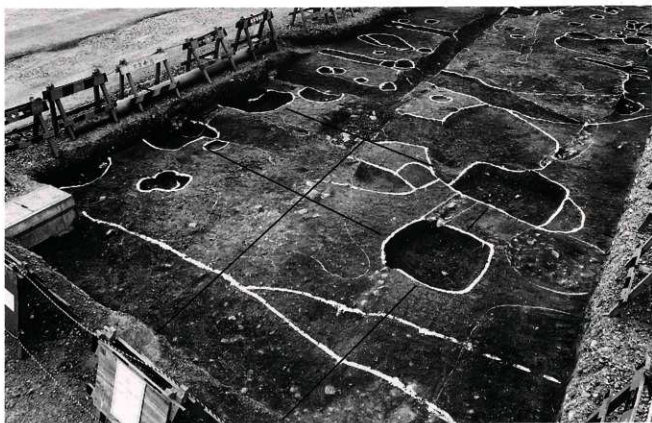


(2) 第38次発掘調査区全景（南より）



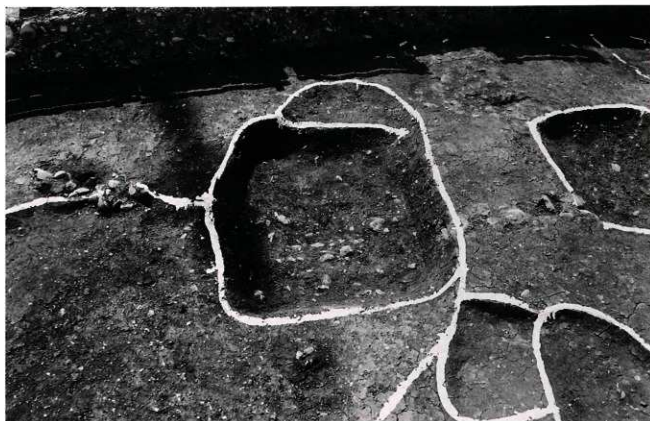
(1) SH15

(柱穴のいくつかは攪乱を受けているが、3間×4間の総柱建物になると思われる。南より)



(2) SH15

(正倉のロの字配列をなす中樞倉庫群の南辺に該当する建物か。北より)



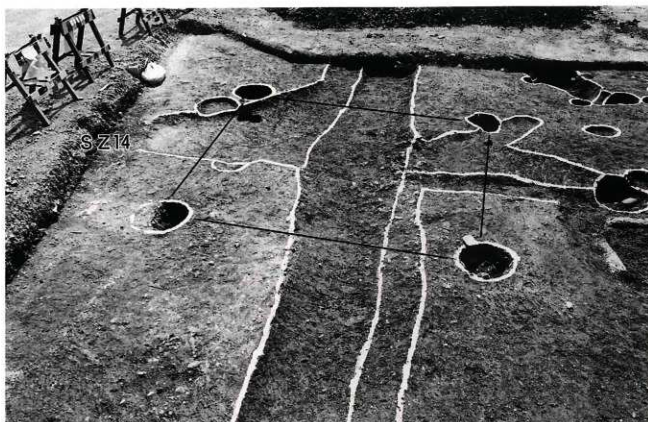
(1) SH15-P3

(遺構面の削平のため浅いが、大型掘立柱建物にふさわしい規格の柱穴である。東より)

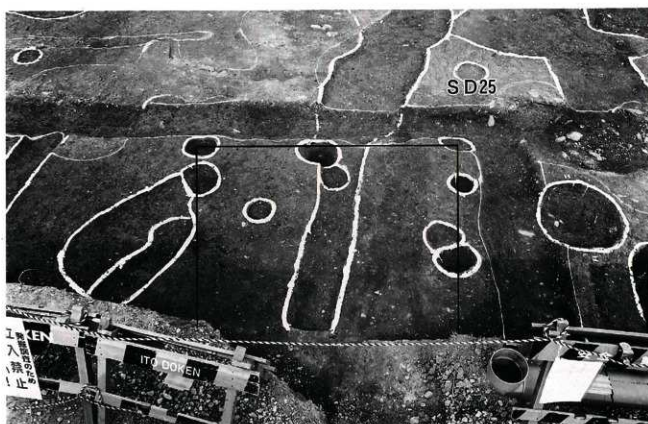


(2) SZ14東溝 SH14

(SZ14は弥生中期の方形周溝墓、SH14は古墳後期の掘立柱建物と思われる。北より)



(1) SZ14東溝 SH14 (中央の溝は近世の区画溝である。東より)



(2) SH16

(古墳後期の掘立柱建物と思われる。中央の溝は近世の区画溝である。東より)



(1) S Z14北溝
(弥生中期の方形周溝墓である。四隅に陸橋が見られるタイプであろう。北より)



(2) S K42土器出土状況
(古墳後期の土師器坏である。付近の掘立柱建物に関係したものか。南より)



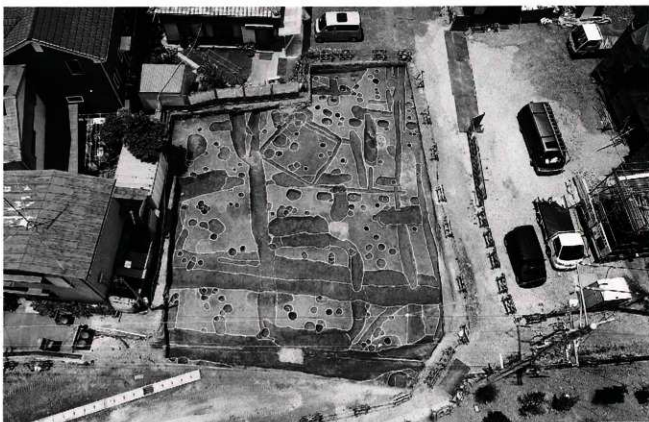
(1) 重機による表土掘削作業風景
(包含層が存在していなかったため、遺構確認面まで表土を掘削することができた。)



(2) 人力による作業風景
(SH15の大型掘立柱建物を調査している。人物より柱穴の大きさが分かる)



(1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真遠景
(上が磐田原台地で太田川水系の平野が見え、左側はJR袋井駅である。東より)



(2) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
(弥生中～後期の方形周溝墓が密集して見られる。東より)



(1) 第39・40次東半発掘調査区空中写真全景
(古墳後期の竪穴住居、奈良時代の掘立柱建物、中・近世の区画溝も重複して見られる。北より)



(2) 第39・40次東半発掘調査区全景
(遺構の保存状況は良好であり多数の遺構が見られた。東より)

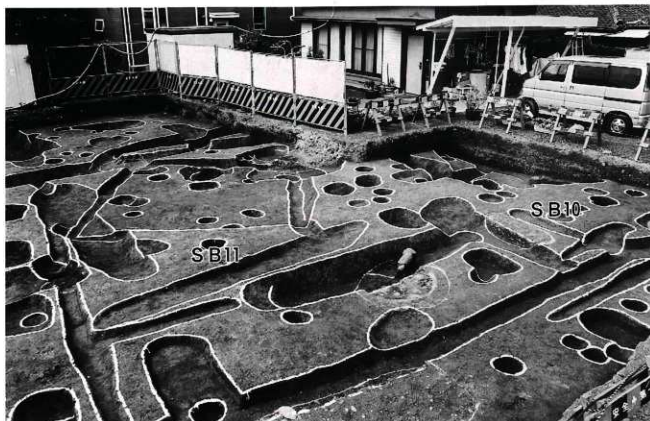


(1) 第39・40次東半発掘調査区全景（西より）



(2) SZ2 SB10・11

(SZ2は弥生中期の方形周溝墓、SB10・11は古墳後期の堅穴住居である。東より)



(1) SB10・11

(古墳後期の方形の竪穴住居で、並列して確認された。北東より)



(2) SB10

(一部の検出であったが、北壁には壊されたかまどと貯蔵穴が見られた。北より)



(1) SB10

(壁溝は確認できなかったが、張床面は一部確認できた。東より)



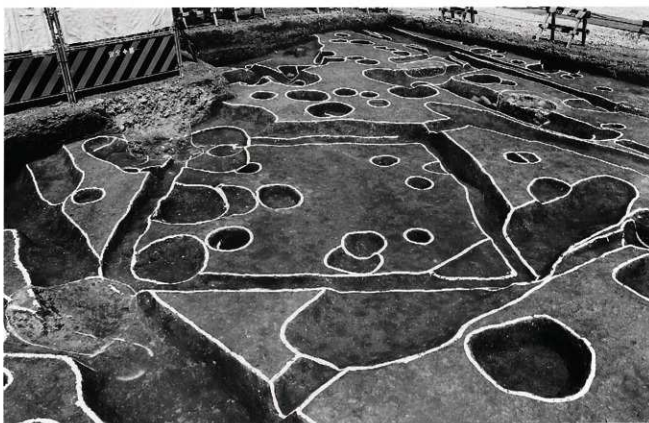
(2) SB10かまど

(かまどは壊されており、焼土面のみの検出に留まった。良く焼けている。南より)



(1) SB11

(比較的小型の住居で、北壁にはかまどは確認できなかった。南壁中央付近に貯蔵穴が見られる。北東より)



(2) SB11 (南東より)



(1) SB11貯蔵穴
(貯蔵穴としては比較的深く、出入口部に近い場所に掘られている。北より)



(2) SH5
(奈良時代の長屋風建物と思われるが、北半部は調査区外となるため全体の規模は不明である。
主軸方向から郡衙正倉関連の建物であると思われる。南より)



(1) SH5-P19土層（縦長の柱穴で柱痕跡は確認できない。東より）

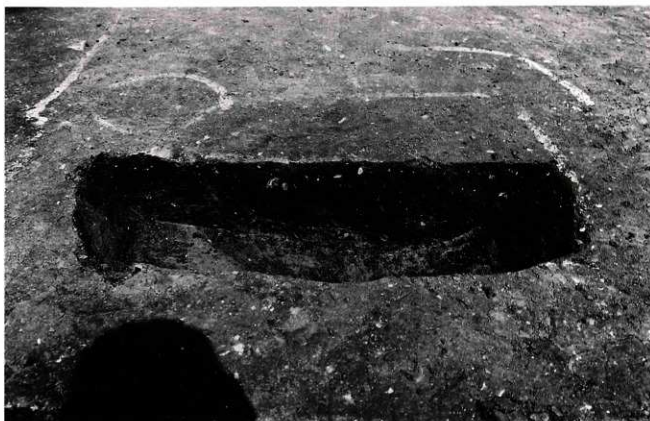


(2) SH5-P21土層（縦長の柱穴で柱痕跡は確認できない。西より）

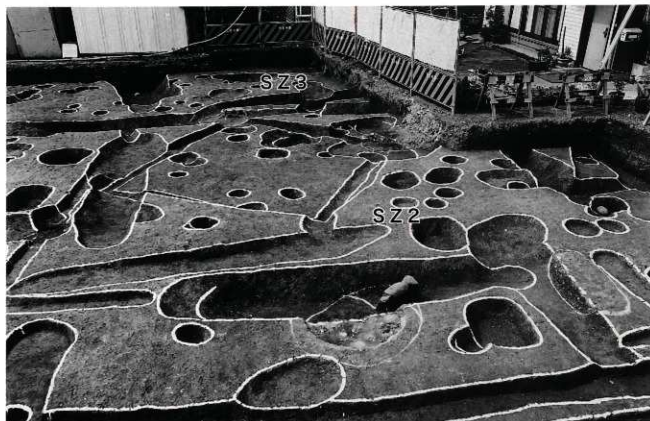


(1) SH5-P21

(縦長の柱穴で底に直径30cm程度の柱痕跡が確認できた。北より)



(2) SH5-P22土層 (縦長の柱穴で柱痕跡は確認できない。西より)



(1) SZ2・3

(弥生中期の方形周溝墓で近接する。主体部は確認できない。北より)



(2) SZ2

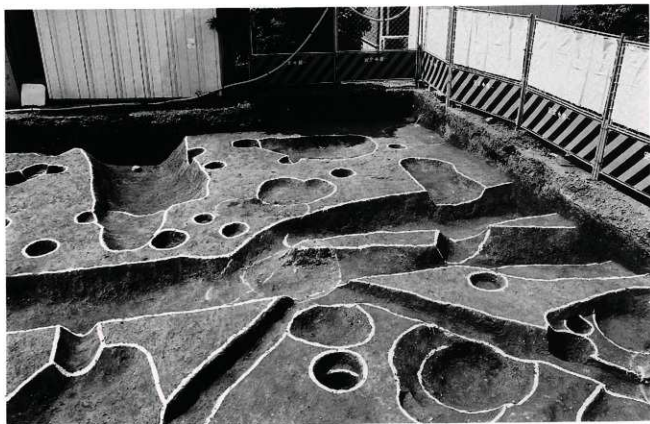
(四隅に陸橋をもつ典型的な弥生中期の方形周溝墓である。東より)



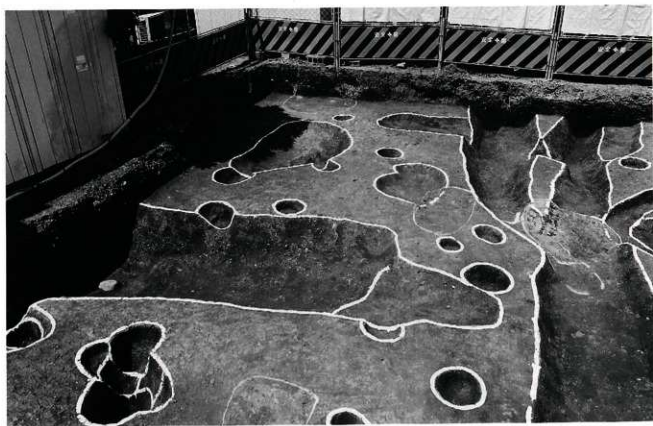
(1) S Z 2西溝内土器出土状況（溝の中層より出土している。北より）



(2) S Z 2南溝土層（切合関係から見るとS D15のほうが新しい。東より）



(1) SZ3
(四隅に陸橋をもつと思われる弥生中期の方形周溝墓である。北より)



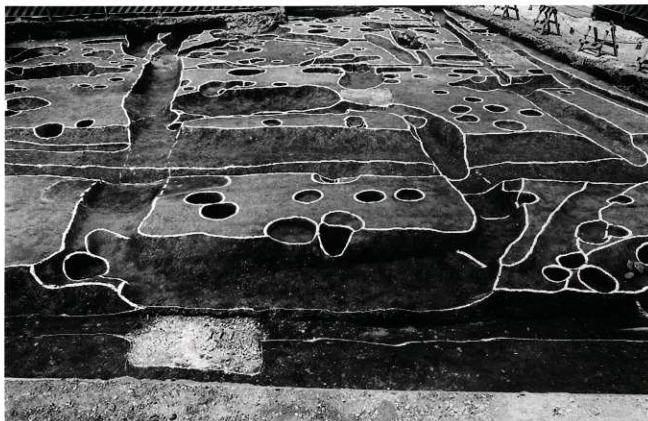
(2) SZ3 (東より)



(1) S Z 3北東陸橋部
(やや狭く造り出しているため、連結小溝が存在していた可能性がある。北東より)

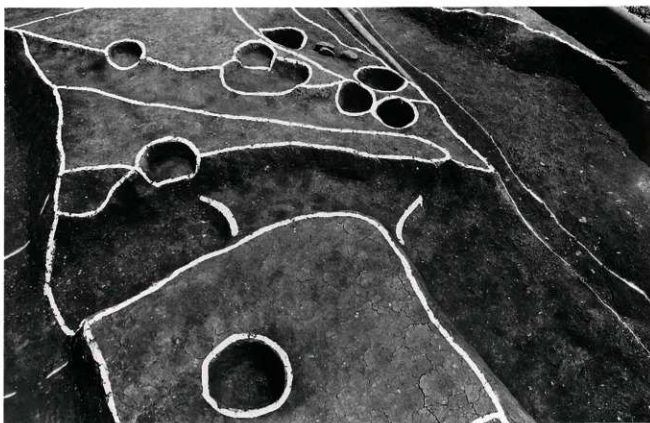


(2) S Z 3東溝上層 (自然堆積をしており盛土の流入は見られない。北より)



(1) SZ4

(四隅が連結する周溝の弥生後期の方形周溝墓である。東より)

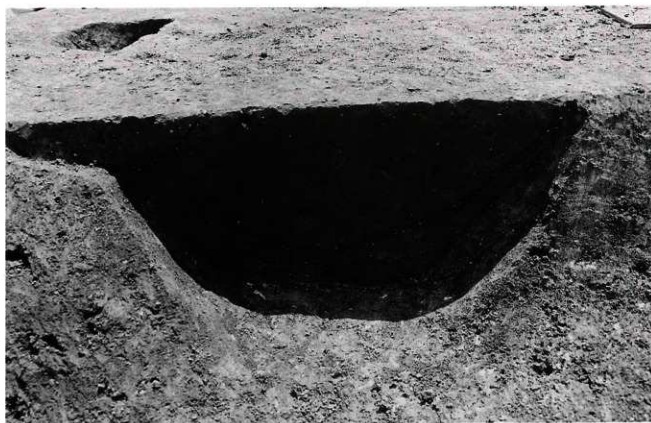


(2) SZ4北東コーナー部

(四隅の周溝が浅くなり連結小溝が発達したものと考えられる。南より)



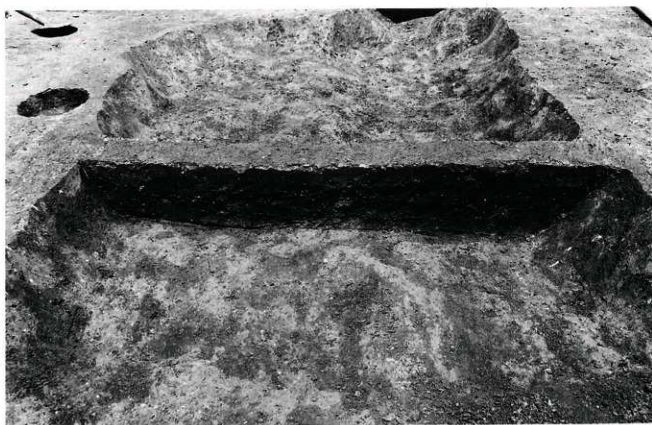
(1) S Z 4 西溝 (造り替えが見られる。南より)



(2) S Z 4 北溝土層 (自然堆積で盛土の流入は見られない。西より)



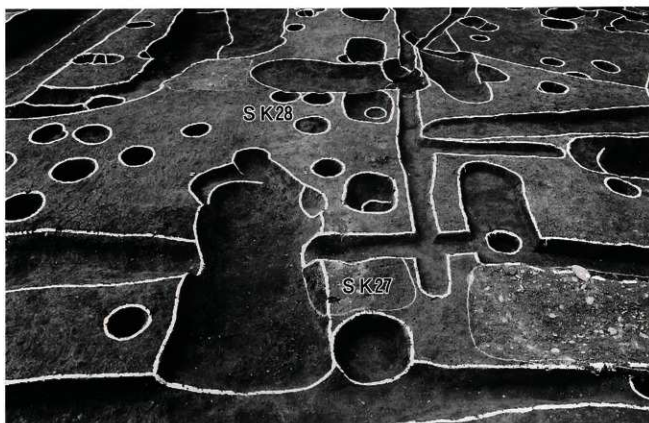
(1) SZ 4 東溝土層
(自然堆積で盛土の流入は見られない。左端は近世の溝で壊されている。北より)



(2) SZ 4 西溝土層
(造り替えが見られ、土層からは西側に拡張したものと考えられる。南より)



(1) SK26
(楕円形の土坑で弥生中期後葉の土器が出土している。西より)



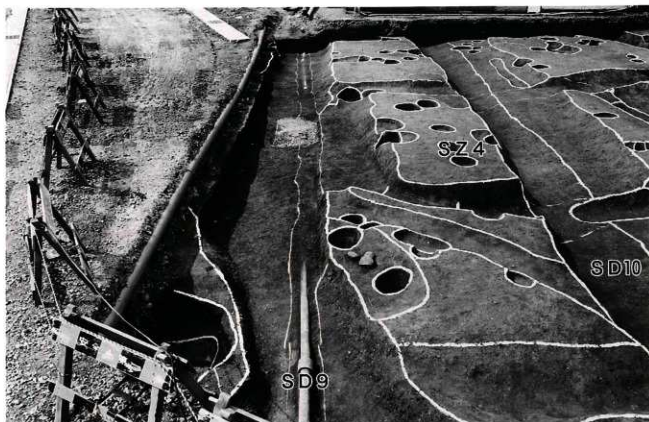
(2) SK27・28
(SK28は弥生中期後葉の土器、SK27からは江戸時代のかかわりが出土している。北より)



(1) S K27土器出土状況（南端へりよりかわらけ2点が出土した。北より）



(2) S K27土器出土状況（かわらけ1点は完形、1点は破片で出土した。北より）



(1) SD9 (近世の大規模な区画溝である。北より)



(2) SD10

(近世の大規模な区画溝である。SD9と並んで道路の側溝になる可能性もあるが両溝が同時期かどうかは分からない。北より)



(1) 第39・40次東半発掘調査区西壁土層
(弥生中期～古墳後期の土器を出土する厚さ20cmの包含層(Ⅱ層)が南西端のごく一部で確認できた。東より)



(2) 重機による表土掘削作業風景
(包含層がほとんど存在していなかったため、表土を遺構確認面まで掘削することができた。)



(1) 人力による作業風景



(2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景



(1) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓が連結して確認された。西より)



(2) 第40次西半発掘調査区空中写真全景
(東端より奈良時代の区画溝と思われる大溝が確認できた。上が南方向。真上より)



(1) 第40次西半発掘調査区全景（西より）

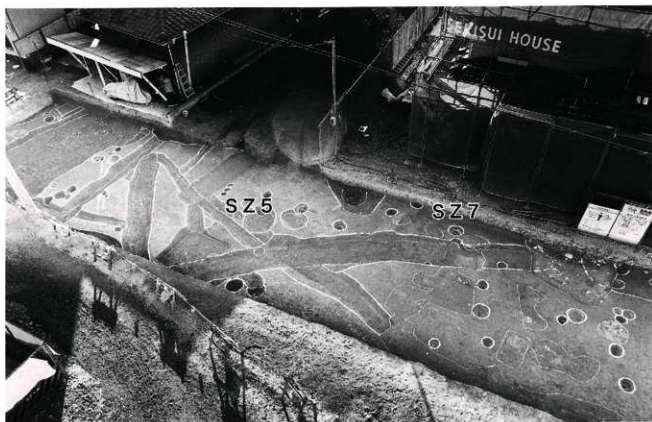


(2) 第40次西半発掘調査区全景（東より）



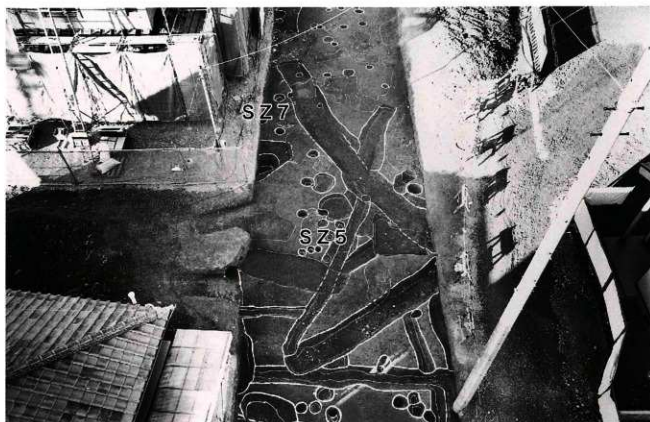
(1) SB10

(古墳後期の竪穴住居であるが、SD17によりほとんど壊されていた。貼床面は確認されている。北より)



(2) SZ5・7

(いずれも四隅に陸橋をもつ弥生中期の方形周溝墓と思われるが溝の一边を共有している。北西より)



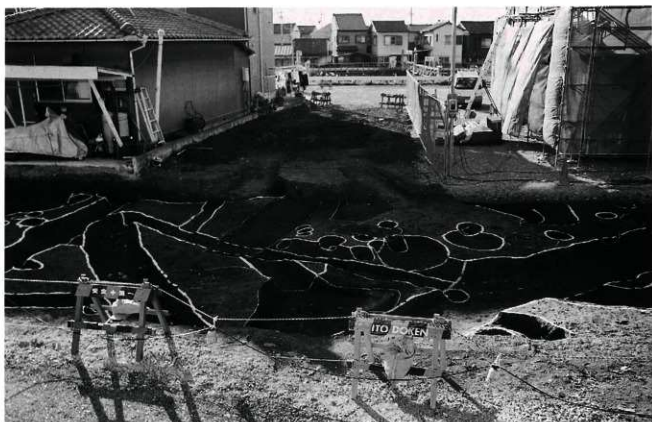
(1) SZ5・7 (東より)



(2) SZ5・7 (東より)



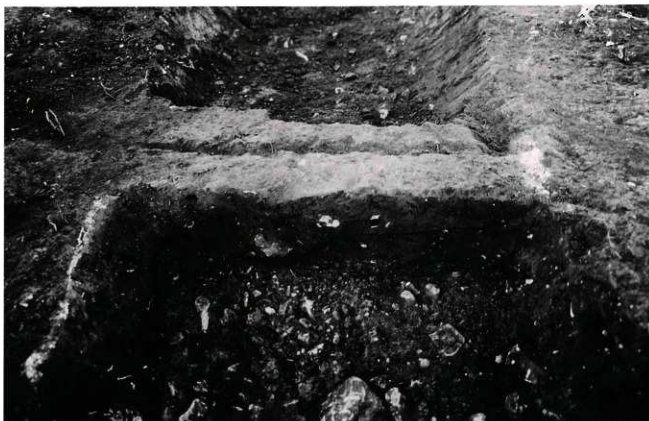
(1) SZ 7 (ごく一部の検出である。北より)



(2) SZ 5 (四隅に陸橋をもつ方形周溝墓である。北より)



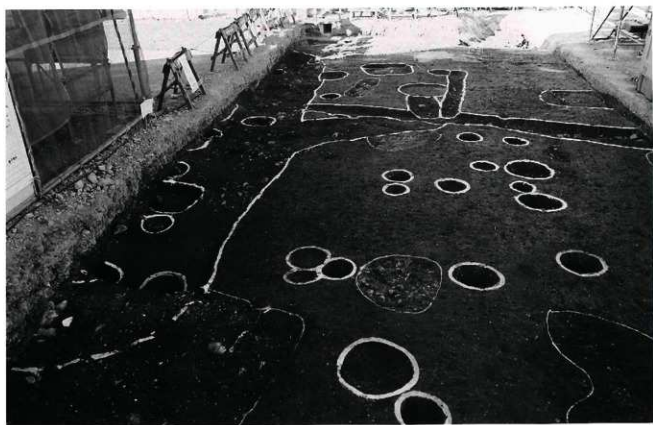
(1) SZ 5北溝土層（自然堆積で盛土の流入は認められない。南西より）



(2) SZ 5東溝土層（自然堆積で盛土の流入は認められない。南より）



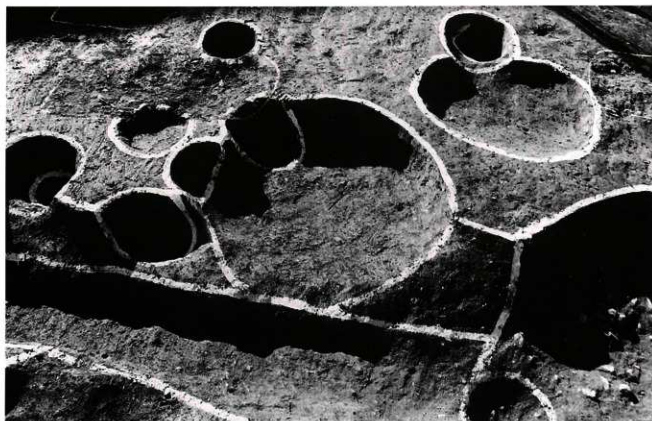
(1) SZ5南溝内土器出土状況
(弥生中期後葉の壺が溝底よりやや浮いて出土した。北より)



(2) SD18
(一部の検出で性格は不明であるが、幅の広い溝であることから
弥生後期の方形岡溝墓の溝になる可能性はある。東より)



(1) S D18 (東より)



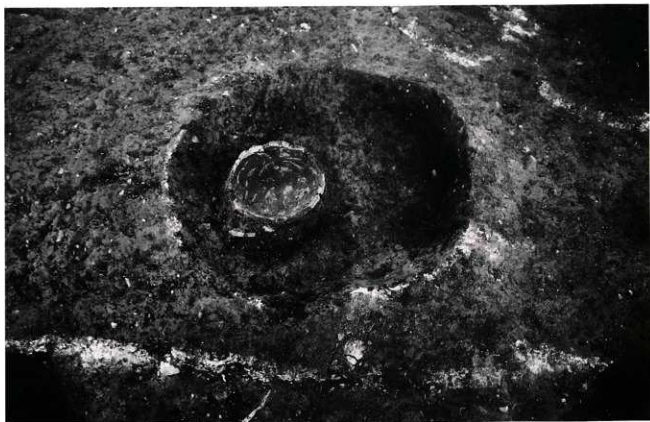
(2) S K35 (弥生後期の土坑か。北より)



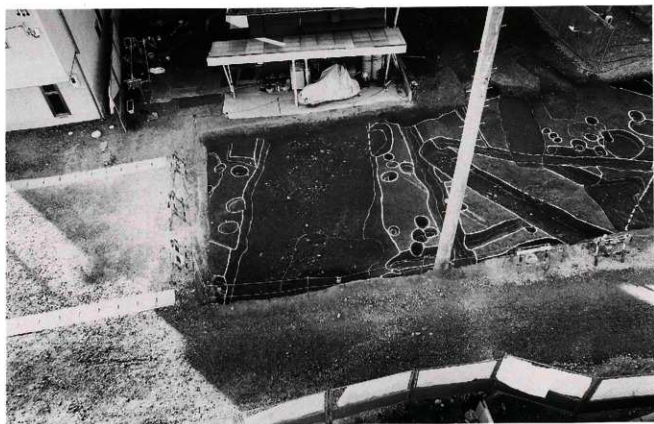
(1) SK34
(SZ5西溝内に掘られたかなり深い土坑。北東より)



(2) SK34土層
(土層からはSZ5西溝よりも古い土坑の可能性がある。北より)

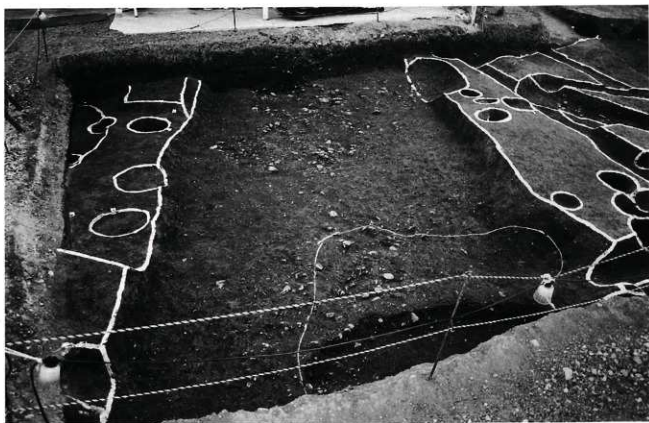


(1) S P60 (壺形土器の底である。西より)



(2) SD17

(奈良時代の区画溝と思われる大溝である。郡衙正倉の東辺の溝になる可能性がある。北より)



(1) S D17 (立あがりは急で、底は平らである。北より)



(2) S D17土層

(自然堆積であるが、西側の正倉域からの上砂流入が見られる。北より)



(1) 近世溝（区画溝と考えられる。西より）



(2) 重機による表土掘削作業風景
(包含層が存在していなかったため、表土を遺構確認面まで掘削することができた。)



(1) 人力による作業風景



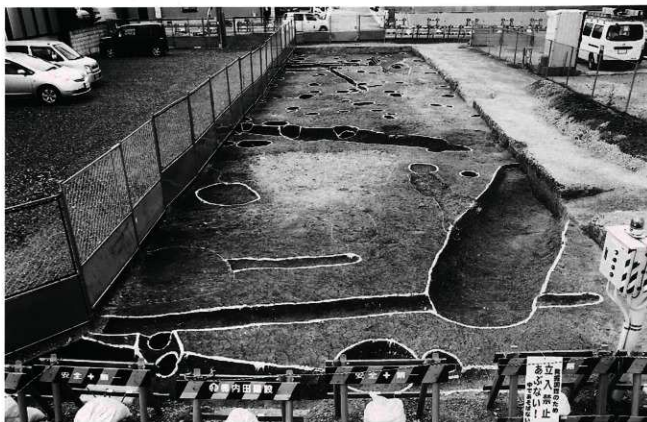
(2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景



(1) 第42次発掘調査区空中写真全景
(弥生中期の方形周溝墓と古墳後期の竪穴住居、掘立柱建物が発見された。南より)



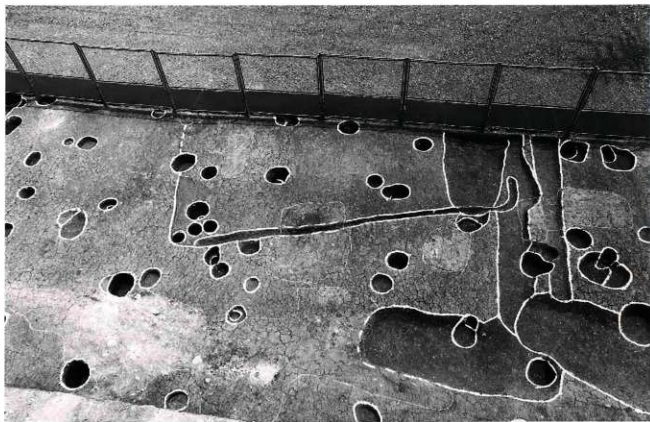
(2) 第42次発掘調査区空中写真全景
(古墳後期の竪穴住居と土坑がセットで発見された。西より)



(1) 第42次発掘調査区全景（北より）



(2) 第42次発掘調査区全景（南より）



(1) SB9
(古墳後期の方形の竪穴住居で、付近に土坑が見られる。西より)



(2) SB9
(北壁にこわされたかまどと思われる焼土が確認された。西より)



(1) SB9 (壁溝が確認できた。北より)

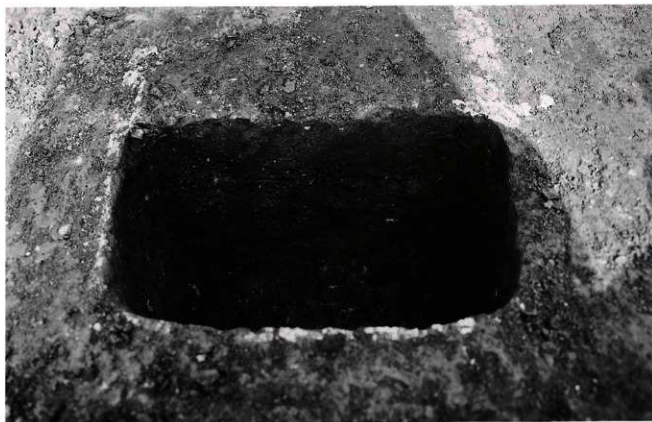


(2) SB9かまど?
(北壁で確認できた焼上で、かまどの焚口の焼土と思われる。西より)



(1) SH12

(間口の狭い方形の掘立柱建物で、主軸方向からは奈良時代の郡衙関連の建物に該当する。西より)

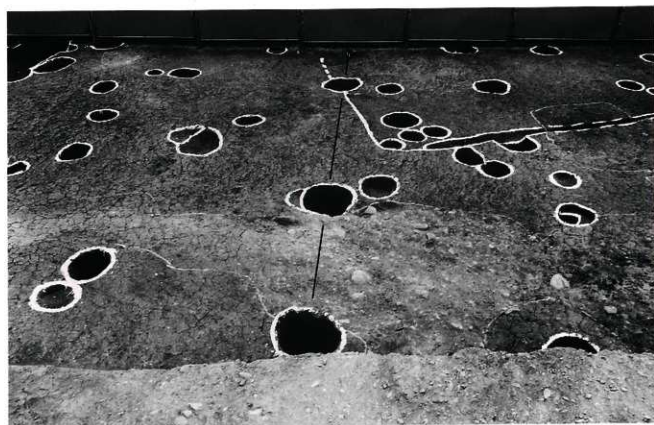


(2) SH12-P3土層 (柱痕跡は確認できない。西より)

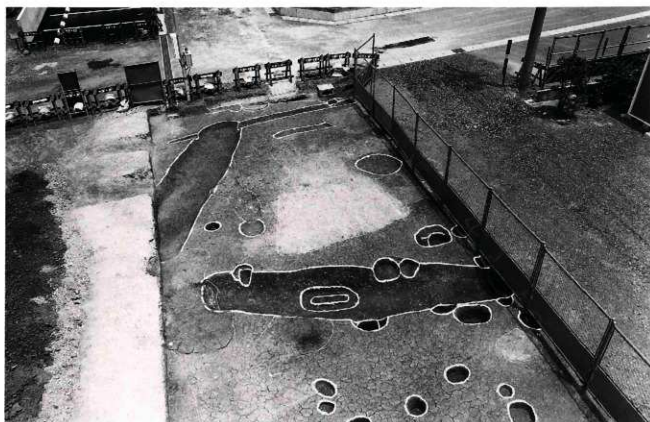


(1) SH13

(1間×1間の小規模建物であるが、主軸方向からは奈良時代の郡衙関連の建物に該当する。西より)

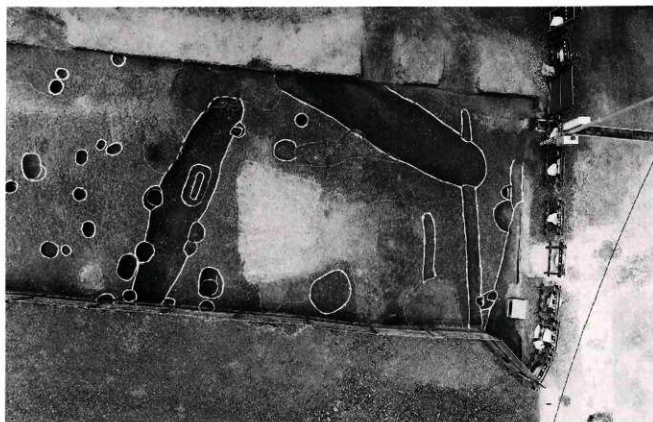


(2) SA? (あるいは掘立柱建物となる可能性もある。西より)



(1) SZ15

(四隅に陸橋をもつ弥生中期の方形周溝墓である。南より)



(2) SZ15

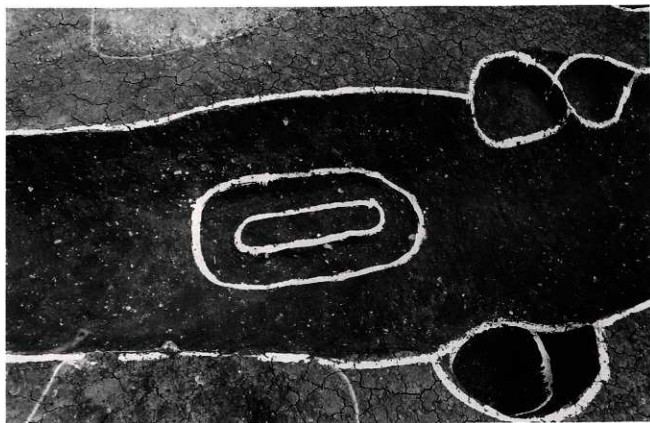
(東溝は調査区外となるため全体の状況は不明である。上が西方向。真上より)



(1) S Z15 (西より)



(2) S Z15南溝（溝内埋葬と思われる木棺の痕跡が見られた。西より）



(1) S Z15南溝内埋葬
(木棺の痕跡が見られたが、小型であることから子供の木棺の可能性が高い。南より)

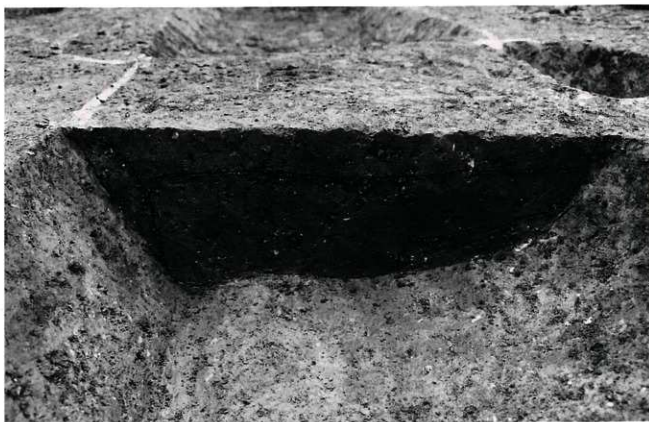


(2) S Z15南溝内埋葬 (西より)



(1) SZ15北溝土層

(自然堆積で盛土の流入は認められない。段差があるため北側にもう1基存在する方形周溝墓の溝が切合っている可能性がある。西より)



(2) SZ15南溝土層

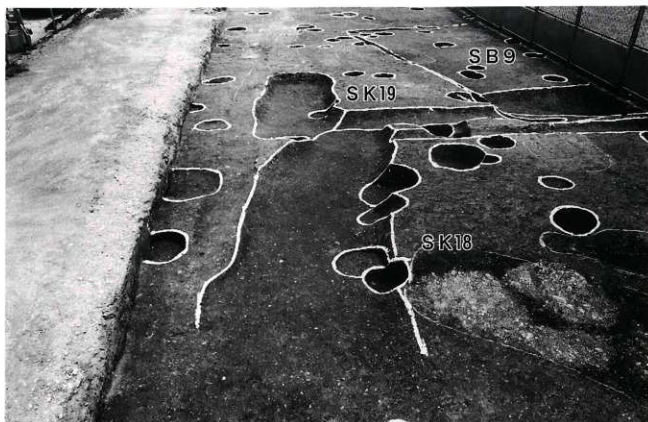
(溝内埋葬の木棺が中層から掘り込まれる状況が明らかである。西より)



(1) S Z 15西溝土層 (自然堆積で盛土の流入は認められない。北より)



(2) S Z 15南溝土器出土状況
(底よりやや浮いて出土した壺形土器で、破片で出土した。西より)



(1) SK18・19 (SB9に隣接した古墳後期の大型土坑である。南より)



(2) SK18・19 (土器はあまり出土しない。北より)



(1) S K18土層（自然堆積であるため徐々に埋まった状況を示す。北より）



(2) S K19土層（自然堆積であるため徐々に埋まった状況を示す。北より）



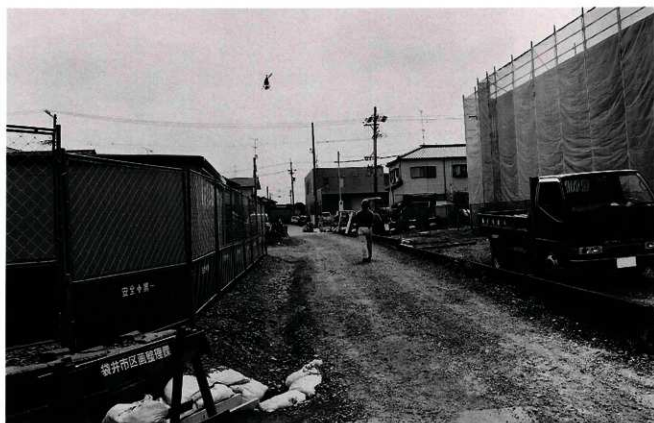
(1) SP5内土器棺出土状況
(SZ15に隣接して発見されたが、時期は底部のみの出土であるため不明。南西より)



(2) 重機による表土掘削作業風景
(包含層が存在していなかったため、表土を遺構確認面まで掘削することができた。)



(1) 人力による作業風景



(2) ラジコンヘリによる写真測量・撮影作業風景

報告書抄録

フリガナ		カケノウエイセキ		シャシンズハンヘン		
書名		掛之上遺跡38・39・40・42 写真図版編				
副書名		袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書16				
編集著者名		松井一明				
編集機関名		袋井市教育委員会				
所在地		〒437-1192 静岡県袋井市浅名1028番地 ☎0538-23-9269				
発行年月日		2006年3月25日				
フリガナ 所収遺跡名		カケノウエイセキ 掛之上遺跡				
フリガナ 所在地		シズオカヤンフクロイシタカカケノウエ 静岡県袋井市高尾掛之上				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号			20050511 ～ 20060325	1153.0㎡	袋井市駅前第二地区 土地区画整理事業に 伴う区画5・9・10 号線道路建設
22216	151	34° 44' 24"	137° 55' 53"			
所収遺跡名		種別	時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
掛之上遺跡		集落跡	弥生時代 中・後期	方形周溝墓 土坑	土器・石器	弥生時代 中・後期 大方形周 溝墓群
			古墳時代 後期	竪穴住居跡 掘立柱建物	土器（土師器・須 恵器）	有力集落
			奈良時代	大型掘立柱建物 区画溝	須恵器	郡衙関連遺跡
			近世	土坑 地割溝	陶磁器・かわらけ	

袋井市駅前第二地区土地画整理事業に伴う発掘調査報告書16

掛之上遺跡 38・39・40・42

— 写真図版編 —

発行年月日 2006年3月25日

編集・発行 袋井市教育委員会

袋井市役所都市建設部区画整理課

〒437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1

印刷 松本印刷株式会社

〒437-0022 静岡県袋井市方丈3丁目3-11